

宇治田楽まつり

源氏るま 2018



2018年10月20日(土)

観覧
無料

府立宇治公園(中の島)



宇治市文化会館
(大ホール)
開演：午後6時

【オープニング】午後5時30分 出演：宇治っ子朗読劇団☆Genji『宇治十帖ものがたり』より
【終演予定】午後8時 ★午後5時20分 宇治神社御旅所より行進開始



京都ジャンピング
体操クラブ



六嶋由美子 / 宇治っ子朗読劇団☆Genji

beyond
2020
京都文化力

事前行事『奉納躍』9月16日(日)午前宇治上神社・宇治神社

- 主 催：宇治田楽まつり実行委員会 共催：宇治市、宇治市教育委員会、紫式部文学賞イベント実行委員会
- 会場へのアクセス：京阪電車宇治線宇治駅より徒歩5分・JR奈良線宇治駅より徒歩10分 ※公共交通機関をご利用ください。
- お問い合わせ：宇治田楽まつり実行委員会 (<http://ujidengaku.com>)
Tel : 0774-22-5557 Fax : 0774-25-0555 e-mail : info@ujidengaku.com

●後援：京都府、京都府教育委員会、宇治商工会議所、(公社)宇治市観光協会、陸上自衛隊 宇治駐屯地、朝日新聞 宇治支局、毎日新聞 宇治支局、読売新聞 京都総局、京都新聞、畿南タイムス社、
嵯峨南新報、NHK 京都放送局、KBS 京都、エフエム宇治放送局、NHKエフエム京都、株元リビングループ、(株)宇治市社会福祉協議会、宇治フィオンスクラブ、京都城南フィオンスクラブ、
宇治ロータリークラブ、宇治風風ロータリークラブ、京阪電気鉄道、京都京阪バス、古典の日推進委員会、(一社)紫式部顕彰会、歴史街道推進協議会、
(公財)京都文化交流コンベンションビューロー、(財)宇治市文化財奨励協会、(一社)宇治青年会議所

●協力：京都アートカウンシル、社会医療法人 岡本病院(財団)京都岡本記念病院



宇治田楽のプロフィール

お米を主食とする私たち日本人にとって、五穀豊穡は昔から切実な願いでした。大昔の農業は科学が発達し機械化された今日に比べると、天候に影響されることの多いとても不安定なものだったでしょう。過酷な自然にさらされる農業民にとって、力と呼吸を合わせて働くことは秋の実りを左右する重大事です。作業をスムーズに行うために、かけ声、リズム、歌が生まれたともいわれています。また、豊作を田の神様に祈願する儀式でも、音楽と躍りはかかせないものでした。最初に田楽が生まれたのは、このような太古の農作業の中だったかも知れません。平安時代には中国大陸からの渡来芸能も取り入れられ、田楽は田畑を離れた貴族の芸能としても次第に華やかになっていきました。

この時代、宇治の白川には宇治神社や宇治上神社をはじめ、各地の離宮祭に参勤するプロの芸能民がおり、本座（白川座）と呼ばれ広く知られていました。しかし、室町時代になると、後に能や狂言に発展した猿楽が芸能の主流となり、田楽は宇治の地から姿を消してしまっただのです。

私たち宇治田楽まつり実行委員会は、『源氏物語』をテーマとしてまちづくりに取り組む宇治市と連携し、市民サイドからまちづくりに参画できる事業に取り組んできました。宇治が発祥の地といわれるこの失われた芸能、田楽の復活をテーマに、伝統的要素を取り入れた芸能を創作するプロジェクトです。

秋には公募市民と「宇治田楽まつり」を開催。また、実行委員の通年練習の傍ら、公開練習会を定期開催し、学校や福祉施設、地域や職場などから公演依頼にも対応しています。

大勢の人、幅広い世代の人たちが、この躍りと音楽の楽しさに出会い、宇治田楽がふるさと宇治の芸能として大切に育てられていくことを夢見て活動しています。

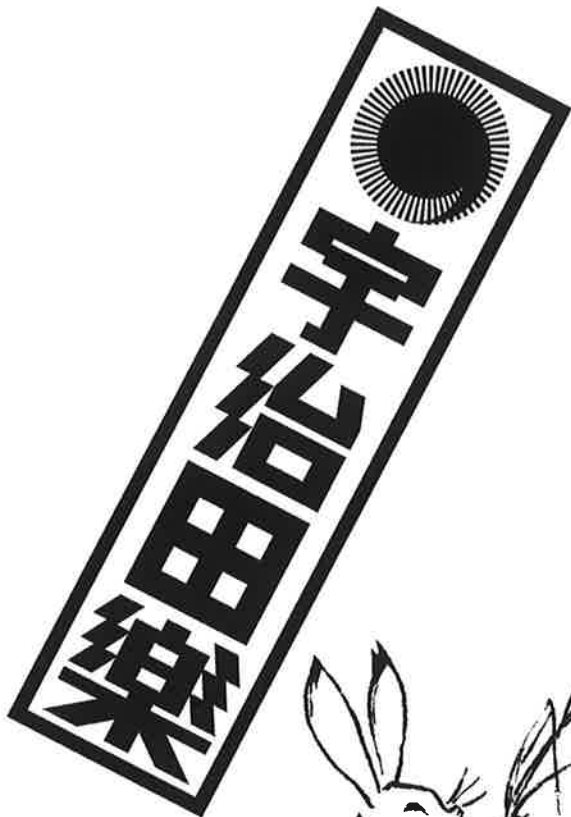
当実行委員会では、共にまつりを継続して行く実行委員を募集しています。興味をお持ちの方は下記連絡先までお問い合わせください。

宇治田楽まつり実行委員会

TEL 0774-22-5557 FAX 0774-25-0555

公式サイト <http://ujidengaku.com>

Eメール info@ujidengaku.com



会場地図

